

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	9-	1	
事業名	放課後児童対策事業	会計 一般	款 3	項 2	目 1
政策	2 次世代を育むために	課名	子ども家庭課		
施策	2-1 子育て支援の充実	係名	子ども支援係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保護者が就労等の理由により昼間家庭にいない小学校に在籍している児童	目的 (対象がどのような状態になっているか)	学校活動終了後の留守家庭の児童に対して、安全・安心な居場所づくりを確保し、健全育成を図る。
事業内容	父母会に対し、放課後児童クラブの運営委託を行い安全・安心な居場所づくりを確保するとともに、東員町放課後児童健全育成事業実施要綱に定められた事業を実施することにより、児童の健全育成を図る。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	入所児童数	287			人	↑	310
	2	学童保育施設	7			カ所	↑	10
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			51,327		45,906		58,589	
財源 内訳	直接事業費 A		47,235		41,814		52,847	
	うち一般財源		25,770		17,912		24,049	
人件費 (千円) B			4,092		4,092		5,742	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.62	4092	0.62	4092	0.87	5742
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	学校区を越えた児童受け入れのほか、空き家等を活用した学童保育所の開設及びその支援策について検討する。	③取組の課題	今後も学童保育所へのニーズが高まることが予想されることから、増設等の検討を行う必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	笹尾東学童保育所の移設について、令和4年度に整備できるよう当該父母会と協議し、教育委員会及び学校と調整し、笹尾東小学校への移転を決めることができた。	④今後の改善計画	限られた財源の中で、新たな開設の手法を検討していく。